

プロキシサーバーのアップグレード

Tips

プロキシサーバーはメタデータを保持しないため、マスターサーバーやレプリカサーバーと同時にアップグレードを行う必要はありませんが、Helix Core(P4D) のアップグレードに併せて、Helixプロキシ(P4P)にも性能改善や機能追加が行われていますので、マスターサーバーやレプリカサーバーと同時にアップグレードを行うことをお勧めします。

手順

 キャッシュのバックアップは不要です

1. p4pを停止します。

以下のいずれかの方法で停止してください

- ① p4dctlを使用してp4pを起動している場合
stopコマンドを実行します。

| 実行コマンド |
|---|
| p4dctl stop p4pサービス名 例 : p4dctl stop p4pmaster |

| コマンド実行例 |
|----------------------------------|
| Stopped 'p4pmaster' p4p service. |

- ② p4dctlを使用していない場合
p4pの子プロセスが動作していないことを確認して、killプロセスを実施します。

2. p4p実行ファイル置き換えます。

3. プロキシルートにpdb.lbrファイルおよびpdb.monitorファイルが存在する場合、削除します。

4. p4pを起動します。